

新潟市教育相談  
センターだより

# も え ぎ

第 104 号  
2019年4月24日  
新潟市教育相談センター  
新潟市中央区西大畑町458番地1  
TEL (025) 222-8600 (代表)  
FAX (025) 222-8303  
E-mail:sodan.ed@city.niigata.lg.jp



## 「連携に向けた 信頼関係の構築へ」

新潟市教育相談センター  
所 長 永 川 幸 洋

平成から令和に年号が変わり、日本中が「変化」に期待を寄せているように感じます。学校現場、特にいじめや不登校に苦しむ子どもやその保護者は「今すぐ」「自分の状況」が変わることを切望しているはずで。私たちはその思いに真摯に向き合わねばなりません。そのための支援のキーワードは「連携」です。実りある連携のために、年度当初のこの機会に、是非今一度、センターの役割や機能を確認していただけますようお願いいたします。

(1) 当センターでは「来所相談」「訪問相談」「適応指導教室の運営」「夜間学習・進路相談室の運営」等による支援を行っています。どの支援をとるかは、全て「教育相談」で相談者の話をじっくり聞き、センターとしてのアセスメントをたてることから始まります。ケースによっては、それが、学校や他機関が求める支援とは異なる場合があります。その際には、学校や他機関と情報交換やケース会議を行い、最善の支援策を模索していきたいと思っています。

(2) 当センターは、学校支援課の一機関です。「全ての子どもが安心して生活できる場」としての「学校」を支援することがその使命です。それには相談者と学校の良い関係構築が必要不可欠です。しかし、教育相談の現場には、片方だけの話を聞いているうちに思いが寄ってしまい、問題の本質を見誤っ

てしまう危険性が常に潜んでいます。センターの支援により、相談者と学校の関係が悪化してしまっは、問題の解決は遠のくばかりです。学校との情報交換や連携の重要性を全職員で再確認しました。

(3) 当センターはあくまでも教育機関としての相談機関です。医療や福祉機関のカウンセリングとは異なります。文科省からも「医師の診断なく、相談者に対し、発達障害と決めつけたり服薬を勧めたりするような支援(医療行為とみなされるような言動)は厳に慎むこと」と指導を受けています。また、医療機関や福祉機関にとって最善の支援策が、学校現場の実情と照らし合わせると実行困難な場合もあります。そのような場合には、「どちらが最善か」ではなく、互いに協議を深め、学校現場でできる最善の支援策を探っていくことが重要だと思っています。

(4) 当センターでは、私たちのアセスメントや支援が、相談者や学校・専門機関から信頼を得られるよう専門性の向上に努めています。新潟大学や新潟青陵大学との連携事業により、10名の先生方から、日常的に「講義・研修」や「スーパーバイズ」を受けています。「講義」は、カウンセリング、臨床心理、精神医学、特別支援教育等に関する職員個々の専門性の向上のために、「スーパーバイズ」は、困難な事例について指導助言を受け、より適切なアセスメントを行うためです。学校や専門機関から信頼され、連携したいと思っただけの相談センターであるよう努めてまいります。

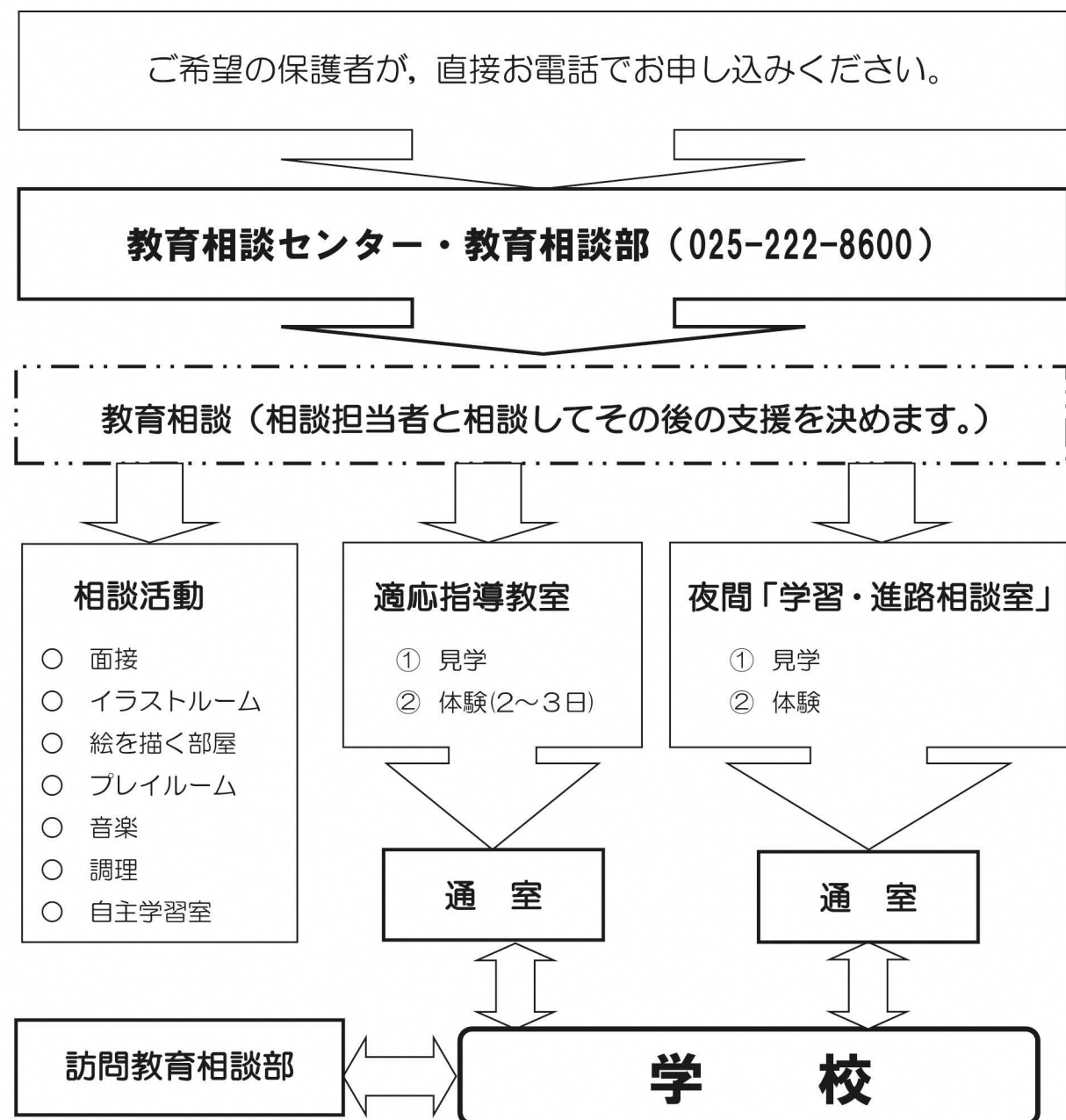
### 2019年度 各小・中学校に参加をお願いする事業日程

(1) 不登校担当者研修会 (全ての小・中学校が対象)			(2) 教育相談研究会
実施日	対象	場所	11月20日(水) 場所：教育相談センター
5月7日(火)	中央区	教育相談センター	
5月13日(月)	北 区	北区教育相談室	
	東 区	教育相談センター	
5月14日(火)	西蒲区	岩室公民館	(3) 作品展
5月16日(木)	江南区	江南区教育相談室	2020年1月31日(金) 場所：教育相談センター
	南 区	南区役所味方出張所	
5月21日(火)	西 区	教育相談センター	
	秋葉区	秋葉区教育相談室	



# ～ 教育相談センター ～ 〈中央区・東区・西区〉

## ＜手続きの流れ＞



所長・所長補佐  
庶務部



教育相談部



適応指導部  
適応指導教室  
(くみの木教室)



訪問教育相談部



夜間指導部  
夜間「学習・進路相談室」

## 絵を描く部屋

「お願いします」と、講師への挨拶から始まる絵を描く部屋。講師は、いつも優しい眼差しで接して下さる鈴木明先生。始めはデザイン画や水彩画を描いていた子どもたちが、次第に油絵に興味をもち始め、講師に「油絵を描いてもいいですか」と尋ねます。当然、返ってくるのは「もちろん」という言葉です。油絵は何回でも描き直せる優れたもの。小学生から中学生まで様々な支援を受けながら、キャンパスに向かって作品作りに取り組みます。上手い下手は関係ありません。最後はみんなそろって「ありがとうございました」とお礼を言って、みんな笑顔になって帰っていきます。

## イラストルーム

イラストルームは、相談の一環として毎月2回金曜日の午後1時～2時30分に行っています。イラスト、マンガ好きの子どもたちが集まり、真剣にマンガやイラストを描いています。イラストルームでは、他に「まんがギャラリー」という冊子を年3回発行しています。マンガやイラストに興味のある子どもたちから原稿を募集し、冊子を作り、子どもたちに配付しています。



イラストルーム作品

※詳しくは、4月上旬に各校に配付いたしました当センターのパンフレット「ひとりで悩まないで」をお読みください。  
※各区教育相談室でも、相談・適応指導教室・訪問教育相談は同じように行っています。



# ～ 各区教育相談室 ～

【北区教育相談室】 適応指導教室 (さわやかルーム)



「来なくなる北区教育相談室、学校に行きたくなくなる北区教育相談室」を目標に、子どもの心に寄り添いながら、より丁寧な支援したいと思います。  
「子どもたちが安心して居場所づくり」とともに、かわり合いや体験を通してエネルギーを蓄え、学校に行きたくなくなるような相談室を目指します。

【江南区教育相談室】 適応指導教室 (そよ風ルーム)



「笑顔が生まれる相談室」を合言葉に、子どもの心に寄り添い、信頼される相談室を目指します。保護者や学校、外部機関などとも連携を図りながら、恵まれた施設や地域の環境を生かした支援を行い、誰もが笑顔になれる相談室を目指します。

【秋葉区教育相談室】 適応指導教室 (レインボールーム)



自然豊かな新津丘陵のふもとと新津図書館の2階にあり、サケが遡上する新津川が脇を流れます。「子どもの居場所となる、気楽に利用できる相談室」を合言葉に、一人一人が豊かな体験とかかわり合いを通して、自分らしく輝けるように支援していきます。

【南区教育相談室】 適応指導教室 (あおぞら教室)



南区のほぼ中心に位置し、蒲原平野の田園に囲まれた味方出張所内に開設しています。「みんな なかよくみらいに向かって」を合言葉に、今年も、子ども・保護者に寄り添いつつ、学校・関係機関との連携をより一層密にし、「信頼される相談室」を目指していきます。

【西蒲区教育相談室】 適応指導教室 (スペース「レスト」)



西蒲区教育相談室は、弥彦山を間近に望む西蒲区役所岩室出張所の2階にあります。『子どもに元気と笑顔を』をキャッチフレーズに、子どもや保護者に寄り添い、共に活動することで「信頼される相談室」を目指しています。

## 各区教育相談室 所在地一覧

相談室名	所在地	電話番号
北区教育相談室	〒950-3343 北区上土地亀941-2	025-387-3709
江南区教育相談室	〒950-0121 江南区亀田向陽2-1421-5	025-382-1156
秋葉区教育相談室	〒956-0863 秋葉区日宝町6-2 (新津図書館2階)	0250-23-0101
南区教育相談室	〒950-1294 南区味方1544 (味方出張所1階)	025-373-4895
西蒲区教育相談室	〒953-0132 西蒲区西中860 (岩室出張所2階)	0256-82-1800